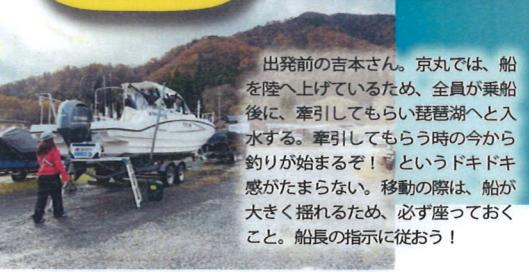




## 吉本美咲

Misaki Yoshimoto

ビッグフィッシングの11代目アシスタント、サンテレビアナウンサー。父の影響で釣りを始める。釣場速報にて月イチ連載「次は誰が釣れるかな?」も掲載中

in 滋賀  
北湖

出発前の吉本さん。京丸では、船を陸へ上げているため、全員が乗船後に、牽引してもらい琵琶湖へと入水する。牽引してもらう時の今から釣りが始まるぞ! というドキドキ感がたまらない。移動の際は、船が大きく揺れるため、必ず座っておくこと。船長の指示に従おう!



## 船長特製弁当でクルージング

吉本さん  
琵琶湖ながら  
弁当いたたく

のんびりと琵琶湖の景色を楽しむながら、優雅な釣りを楽しむことができる「ビワマストローリング」。冬は雪景色、春には満開の桜も楽しむことができる。

京丸では、乗船者に楽しんでもらうために船長特製の「京丸弁当」をサービスしている。もちろん、こちらは無料。毎朝、船長は2時前に起きて仕込んでいるそうだ。

当日も豪華な弁当で、ホタテの焚き込みご飯などが入っていた。もちろん絶品! 弁当の内容は、毎日かわるので、それを楽しみに乗船する釣り人も多いみたいだ。

## information



滋賀  
長浜  
電話番号  
090-1477-1059

■交通=名神高速道路京都東ICから西大津バイパス、湖西道路を経て国道161号へ、海津交差点を右折後、右側に琵琶湖を見ながら走る  
■料金=3人まで45000円、4人60000円、5人75000円(6時間)  
乗合船1人15000円(5時間)

ビッグフィッシング  
毎週木曜に放送中!

今回は、サンテレビの釣り番組「ビッグフィッシング」と合同で取材を行った。ビッグフィッシングは、毎週木曜日の22~22時半に放送されている。また、見逃した方のために再放送もしている。再放送は毎週木曜日6~6時半に放送されているので、ぜひチェックを。

「琵琶湖」には、ここにしかいない「固有種」が生息している。記者が食べて思わず感動した「ビワマス」もそのひとつで、淡水魚最高峰の味と称される。

今回はそのビワマスを、サンテレビ「ビッグフィッシング」の11代目アシスタントである、吉本美咲アナウンサーに釣ってもらうべく、滋賀・大浦ファイブオーシャンマリーナから出船している京丸に行ってきました。

夜明けとともに出船した京丸は、20分ほど船を走らせてポイントへと向かう。少し先を見ると、虹が出ている。「私、虹が出ている時は釣れるんです!」と吉本さん。今日は期待できそうだ。

この釣りは、「レイクトローリング」と呼ばれ、タックルや仕掛けは全て船長が準備してくれる。クーラーひとつで釣行ができるため、ビギナーでも気軽にビワマス釣りを楽しむことができる。

石川船長が準備を終えると、さっそく流し始め、ビワマスのアタリを待つ。吉本さんや船長と談笑していると、竿がゴン、ゴンと曲がっている、アタリだ! まずは、記者が吉本さんにやり取りのお手本を見せる。が、内心は「うなないか緊張。ヒヤヒヤしながらも上がってきたのは、シルバーに輝くビワマスだ。

そこから、しばらくアタリが止まないので、お弁当タイム。船長特製の弁当をいただいていると、船長から「きてるよ!」。吉本さんがやり取りしていると、船長は何故かニヤッとしている。上がってきたのは、ウダイだ。どうやらビワマスとは違う引きししく、船長は分かっていたらしい。

さらにウダイを追加し、「なんで~」と話していた吉本さん。しかし、またアタリがきた! 先ほどとは違う引きに、ビワマスの予感。上がってきたのは琵琶湖の宝石「ビワマス」だった。初めてのビワマスに満面の笑みを見てくれた吉本さん。これでこの日はミッションコンプリート!

しかし、これだけでは終わらない。

納竿直前に2本の竿が曲がり、まさかのダブルヒット。吉本さんはもう慣れたのか、見事なやり取りでビワマスをキャッチ。筆者も続いてキャッチすることができ、大満足の納竿となった。

初めてのビワマスに「楽しい!」と吉本さん。この後、ビッグフィッシングチームと共に、ビワマスを食べ、皆さん口を揃えて「美味しい」と言っていただけだそうだ。ビワマスはこれから最盛期、まだ食べたことがない人はぜひ、チャレンジして欲しい。

【編集部 松井亮】

\*最新情報は25面

## ビワマス釣りってどんな釣り?

ビワマスは、「トローリング釣法」で狙う。トローリングとは、日本語で言うところの「引き綱」で、ラインをある程度出した後に固定し、船でルアーを引っ張りながら魚のアタリを待つ。京丸では、タックルや仕掛けなどは全て料金に含まれているほか、仕かけの準備は船長が全て行ってくれる、至れり尽くせりな釣りだ。

